

平成 26 年度

一般財団法人下関市公営施設管理公社

事業報告書及び収支決算書

一般財団法人下関市公営施設管理公社

目 次

○ 事業概要	1
I. 評議員・役員名簿	2
II. 理事会・評議員会の開催状況	3
III. 事業報告書	
実施事業等会計	
実施事業	3
その他会計	
1. 火の山地区観光施設	4
2. 下関市火の山ロープウェイ	5
3. 下関市勤労青少年ホーム	6
4. 唐戸市場駐車場	7
5. 下関市長府体育館	8
6. 下関市市民プール	9
7. 下関市彦島体育館	10
8. 下関市立美術館	11
9. 下関市勤労者総合福祉センター	12
10. 長府庭園	13
11. 下関市ふれあい健康ランド	14
12. 長府毛利邸	15
13. 粗大ごみ等受付センター	16
14. 下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場	17
15. 下関市満珠荘	18
16. 下関市営宿舍サングリーン菊川 菊川温泉プール	19 20
17. 売店	21
18. 駐車場	22
法人会計	
本社・福利厚生事業	23
○ 平成26年度 利用状況表	24
○ 財務諸表及び附属明細書並びに財産目録	29
貸借対照表	30
正味財産増減計算書	31
貸借対照表内訳表	33
正味財産増減計算書内訳表	35
財務諸表に対する注記	37
附属明細書	39
財産目録	40
○ 監査報告	41

事業概要

当社は、平成25年4月、国の公益法人制度改革により、従来の民法上の財団法人から一般社団法人法に基づく一般財団法人としてスタートしました。

その設立目的は、定款に定めるとおりですが、従来とは異なり、活動エリアの拡大や地域交流活動の場の提供など、時代の要請に沿って、事業活動の範囲が広がり、地域における社会活動の担い手としての役割が期待されています。

平成25年度からスタートした「公社経営改革」の取り組みは、市長の諮問機関である「経営検討委員会」の答申や「市改革プラン」の意見により、公社が引き続き存続するための必須条件として改善すべき事項が指摘されています。そのための改革の柱は、公社全体の収支改善を図るための「経営改善計画」において、初めに中小企業診断士の経営指導のもと、特に利用料金制の指定管理事業である満珠荘とサングリーン菊川の2施設における、新たな営業戦略方針による各種の営業戦略プランを実践し、速やかな経営分析とその対応が可能となるようにしました。次は自主事業の拡大ですが、社会情勢の変化に適応した公共施設の柔軟な対応が期待される中で、施設の性格や地域特性を活かし、かつ自主財源の確保に繋がる自主事業の拡大が必要であるとの認識のもとに、自主事業の実施マニュアルを作成し、これまでにない創意工夫を凝らした新たな取り組みに挑戦しています。その結果、事業規模は順調に拡大しています。更に人事給与制度の基本となる成長給制度の導入については、従来の年功序列制度から、成長シートの客観的評価による成長給制度への移行作業を進めました。本年度に試行を行い、予定どおり平成27年度から本格実施となります。

これらの取り組みの成果として、退職手当規程の改正など所要の制度や運用の改善を行ったことから、公社に対する市の公的支援は、当初の平成26年度限りから平成28年度までに延長され、特に指定管理事業については、次期選定時には非公募を基本とすることになりました。ただし、公社としては、こうした支援に甘んじることなく、今後の事業獲得のための独自の施策として、2名の体育施設管理士の資格取得や、平成26年2月にキックオフした個人情報保護に係るプライバシーマーク認証取得の作業に鋭意取り組んだ結果、平成27年4月に無事認証を取得しました。

また、経営基盤安定の基礎となる人材育成については、新たに研修計画を策定し、年間を通じて計画的かつ効果的に実行することとしました。市の研修にも参加することができ、ハイレベルでのスキルアップを図っています。

こうした本年度における内部執行体制の基盤固めと営業体制の強化に引き続き、新年度の最大の目標は、指定管理事業の選定替えに係る継続受注の確保とその方策にあります。そのため、現状の少子高齢社会が進展する中で、公共施設の今後のあり方を念頭において、各施設の運営戦略を検討するためのPTを結成して作業を進めることとしています。

最後に、本年度の事業実績については、前年度同様、実施事業等会計1事業、その他会計は、指定管理事業11事業、受託事業等7事業の18事業、法人会計の1事業の合計20事業となっています。収支については、経営収支がマイナスの赤字事業が5事業、プラスの黒字事業が15事業であり、前年度より改善しています。また、全体収支における一般正味財産期末残高は、前年度は、約108万円が、今年度は約286万円と約178万円増加しています。さらに施設の利用状況については、別添利用状

況表のとおりで、景気の低迷や天候の影響などにより、施設間で多少の増減はあるものの、ほぼ前年度並となっています。ただし、懸案の宿泊事業の2施設については、利用者の落ち込みはないものの営業収支が対前年度に比して大幅に悪化していることから、新年度は利益幅拡大のための施策に力点を置いて鋭意努力することとします。

平成27年度以降についても、経営検討委員会や市、関係機関との連携を図りながら、経営目標の達成を目指して、引き続き公社経営改革に前向きに取り組むこととします。

I. 評議員・役員名簿

(平成27年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	職業	任期
評議員	吉川宗利	平成25年4月1日	下関市役所顧問	平成29年度定時評議員会 終結の時まで
〃	高山剛	平成25年4月1日	下関商工会議所 総務部 部長	平成29年度定時評議員会 終結の時まで
〃	蟻尾定夫	平成26年6月1日	一般社団法人下関 観光コンベンション協会 専務理事	平成30年度定時評議員会 終結の時まで
〃	森邦恵	平成25年4月1日	下関市立大学 准教授	平成29年度定時評議員会 終結の時まで
〃	久野耕一郎	平成26年7月1日	株式会社山口銀行 取締役 本店営業部 部長	平成30年度定時評議員会 終結の時まで
理事長	波多野実	平成26年4月1日	当管理公社 常勤役員	平成28年度定時評議員会 終結の時まで
理事	松崎淳志	平成25年5月30日	下関市役所 総務部 部長	平成27年度定時評議員会 終結の時まで
〃	久保正昭	平成26年5月30日	下関市役所 観光交流部 部長	平成28年度定時評議員会 終結の時まで
〃	来島あゆり	平成26年5月30日	下関商工会議所 総務課 課長	平成28年度定時評議員会 終結の時まで
〃	石津文秀	平成26年5月30日	一般財団法人山口県 国際総合センター 常務理事	平成28年度定時評議員会 終結の時まで
監事	中村文昭	平成24年4月1日	下関市役所 会計管理者	平成28年度定時評議員会 終結の時まで
〃	岡田健	平成25年3月22日	税理士法人維新 税理士	平成28年度定時評議員会 終結の時まで

II. 理事会・評議員会の開催状況

事項	内容	開催日
第1回理事会	・理事長の選定について	4月1日
第2回理事会	・平成25年度 事業報告及び収支決算について ・平成26年度 定時評議員会の招集について	5月22日
定時評議員会	・平成25年度 事業報告及び収支決算について ・評議員の選任について ・理事の任期満了に伴う改選について	5月30日
第3回理事会	・平成26年度 補正予算について ・平成26年度 第1回臨時評議員会の招集について ・評議員候補者の推薦について	6月23日
第1回臨時評議員会	・評議員の選任について ・平成26年度 補正予算について	6月30日
第4回理事会	・平成26年度 第2回臨時評議員会の招集について ・下関市公営施設管理公社経営検討委員会の内容について ・平成26年度 決算見込みについて	12月22日
第2回臨時評議員会	・一般財団法人下関市公営施設管理公社役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改定について ・下関市公営施設管理公社経営検討委員会の内容について ・平成26年度 決算見込みについて	1月14日
第5回理事会	・平成26年度 補正予算について	2月19日
第6回理事会	・平成27年度 事業計画及び収支予算の承認について ・平成26年度 第3回臨時評議員会の招集について	3月19日
第7回理事会	・監事候補者の推薦について	3月26日
第3回臨時評議員会	・監事の選任について ・平成26年度 補正予算について ・平成27年度 事業計画及び収支予算について	3月27日

III. 事業報告書

実施事業等会計（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

実施事業

(1) 事業概要

一般財団法人へ移行することに伴い、公益目的財産額を計画的に支出する計画を作成し、下関市満珠荘ほか、下関市内の公共施設において実施事業として実施した。

(2) 事業実績

講座名	期間	参加人数
満珠荘 フラワーアレンジメント教室	平成26年6月・9月・12月・平成27年3月 延べ4日	延べ27名
満珠荘 総料理長おすすめの家庭で作れるお店の一品講座	平成26年7月・12月・平成27年1月・3月 延べ4日	延べ84名
満珠荘 ミニ門松作り	平成26年12月26日	20名
長府体育館 綺麗な身体作りエクササイズ	平成26年4月～平成27年3月 毎週水曜日	延べ703名
長府体育館 ユニカール教室	平成27年3月26日	15名
長府体育館 わーいプールでヨーヨー釣って遊ぼうよ！	平成26年8月12日・8月19日・8月26日 延べ3日	延べ108名
下関運動公園 綺麗な身体作りエクササイズ	平成26年4月～平成27年3月 毎週火曜日	延べ653名
下関運動公園 初めてのテニス教室	平成26年7月～8月 延べ7日	延べ14名
下関運動公園 足腰を鍛える太極拳講座	平成26年7月～平成27年3月 毎週金曜日	延べ124名
下関運動公園 ポールウォーキング教室	平成27年3月8日	34名

その他会計

1. 火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場）

(1) 事業概要

職員4名をもって、火の山地区観光施設(火の山パークウェイ、火の山立体駐車場)の運営業務を実施した。なお、職員2名については、火の山ロープウェイ運行中は、運行業務専従とした。繁忙期は、火の山地区観光施設業務の職員補助として、日々雇用職員を雇用した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 関係法令、市の条例及び規則等を遵守し、公共施設として安全性の向上に努め、施設等を常に良好な状態において管理し、施設設置目的を効果的・効率的に達成できるように取り組んだ。
- イ. 火の山公園内にある公共の観光施設として、お客様に対する良質なサービスの提供、ホスピタリティの実践、向上に努め、好印象を持っていただけるよう職員各自が持っている経験や知識を共有・徹底し、下関市の観光PRに努めた。
- ウ. 施設内外の巡視点検等を実施し、事故や火災等リスクを理解し、発生を未然に防止するとともに、お客様の安全・安心の確保及び下関市観光施設の顔として、お客様に喜ばれるように環境の整備、施設の維持保全に努めた。
- エ. 下関市の職員と連携し、お客様の安全確保を第一とし、より公共性・公益性の高い業務としてのきめ細かな対応、業務実施に努めた。
- オ. 施設の機械設備等の保守点検、立体駐車場内の利用車両の把握、警備、監視、清掃、環境整備及びパークウェイ巡回、監視、清掃等火の山地区観光施設の維持管理を効果的・効率的に実施し、故障等のトラブル発生時は、直ちに応急措置を講じ、施設の安全性とお客様の利便性の向上に努めた。
- カ. 施設の立地条件等特性に配慮し、天候変化や路面状況の変化等情報収集を適時行い、下関市や関係諸施設との連絡を密にして、お客様の安全を第一にパークウェイ通行規制等、秩序ある維持管理を実施した。
- キ. 施設で使用する消耗品等の補充・交換は、お客様の利便性を常に意識し、環境整備としての適切な管理を実施した。
- ク. 施設で使用する電気・水道等の省エネルギー化、コスト削減、環境負荷の低減を意識し、サービスの低下を招かないよう工夫した施設管理を実施した。
- ケ. 下関市に提出した緊急対応マニュアルに基づき、事故・災害等発生時に即時的確な対応が出来る体制を構築し、必要に応じたマニュアルや体制の追加・変更を実施し、施設の安全管理に取り組んだ。
- コ. 公共施設の管理者として、職務の遂行において従うべき法令上の要請事項を理解し、コンプライアンスの遵守、個人情報の保護に取り組んだ。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. お客様の安全確保を第一に、施設の照明設備、誘導標識、防災設備、車両監視設備等の安全設備に対して、巡回点検を的確に実施し、危険箇所・修繕箇所の早期発見、施設の維持保全に努めた。
- イ. 施設内外、パークウェイの点検巡回清掃を実施、トイレ等は衛生管理に重点をおき、お客様への快適な施設提供に努めた。
- ウ. 施設・設備点検チェックリストを活用し、施設内外の巡視点検、日常点検を行い、事故等の未然防止に努めた。
- エ. 設備故障発生時等の応急措置、修繕箇所の早期発見等、下関市への報告を的確に実施し、設備の管理・維持保守に努めた。
- オ. 防火・防災・避難誘導設備等の機能を的確に発揮できるよう設備の知識・操作習得を行い、万全な管理体制構築に努めた。

(4) 事業実績

- ア. 立体駐車場利用状況 一般車両 57,266台 バス 1,901台
- イ. 元旦早朝開園(平成27年1月1日 5:00~21:00) 一般車両158台 バス5台
- ウ. 関門海峡花火大会(平成26年8月13日) 一般車両508台 バス9台

2. 下関市火の山ロープウェイ

(1) 事業概要

職員2名をもって、火の山ロープウェイ運行業務を実施し、火の山展望台維持管理の補助業務、火の山ロープウェイ運休期間中等における火の山地区観光施設(火の山パークウェイ、火の山立体駐車場)の運営に関する業務にも従事した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 関係法令、下関市の条例及び規則等を遵守するとともに、人命を預かる公共輸送と公共施設として、施設等を常に良好な状態において管理運営し、安全性の向上を常に考え、施設の設置目的が最も効果的に達成できるよう業務の遂行に努めた。
- イ. 火の山公園内の公共観光施設として、お客様に提供するホスピタリティの実践、向上、接遇・マナーを常に意識した行動を心がけ、職員各自が持っている経験・知識を共有し、下関市の観光PRに努めた。
- ウ. 施設等の巡視点検等を実施する事で、事故や火災等の発生を未然に防止し、お客様の安全・安心の確保及び喜ばれる環境の整備、施設の維持に努めた。
- エ. 下関市、関係各所との密接な連携体制を維持し、お客様の安全輸送を第一に通常業務及び各種イベント開催時に、より利便性を考慮した管理運営に努めた。
- オ. 火の山ロープウェイの機械設備等の保守維持管理を効果的・効率的に実施し、故障等トラブル発生時においては、直ちに応急措置及び下関市への報告を実施し、安全確保とお客様の利便性の向上に努めた。
- カ. 火の山ロープウェイの運休については、施設の立地条件等の特性を配慮した上で天候等の情報を常に収集し、お客様の安全確保を第一に下関市や関係諸施設との連絡を密にした、秩序ある維持管理に努めた。
- キ. サービスの低下を招かないように施設で使用する電気・水道等の省エネルギー化、コスト削減、環境負荷の低減を意識した施設管理に努めた。
- ク. ロープウェイ専門部会に出席し、中国運輸局・中国地方の他のロープウェイとの技術交流・情報交換を行い、技術の向上に努めた。
- ケ. 営業スタッフ研修時のスタッフに対する設備の説明、応急救助装置取扱い等、乗客の安全確保に関する指導、営業訓練時の運転業務等及び営業スタッフのスキルアップに協力することで、観光施設としての機能向上に努めた。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. お客様の安全確保のため、施設の照明設備、誘導標識、防災設備等の安全設備について巡回点検を的確に実施し、危険箇所・修繕箇所の早期発見、施設の維持保全に努めた。
- イ. 施設・設備点検チェックリストに基づいた施設内外の巡視点検・日常点検を実施し、事故等の未然防止に努めた。
- ウ. 火の山ロープウェイ運行に係る機械設備等の保守については、各種法令、整備細則等に基づく点検を実施し、円滑に運行するための保守整備、安全運転を徹底することで、トラブル・事故等の発生防止に努め、応急救助装置点検、操作訓練等を実施し、対応体制に万全を期した。
- エ. 設備故障発生時等の応急措置及び下関市への報告を的確に実施し、必要な知識・操作の習得を行い、良好な設備の管理保守に努めた。
- オ. 防火・防災・避難誘導設備等の機能を的確に発揮できるよう設備の知識・操作習得を行い、万全の管理体制構築に努めた。

(4) 事業実績

- ア. 利用状況：利用人数 44,568人(大人 35,822人、小人 8,746人)
- イ. 運行期間：平成26年4月1日～11月30日、平成27年3月19日～3月31日(計200日)
- ウ. イベント：海峡花火大会夜間運行(8月13日)
夏季週末夜間運行8月2日, 8月9日, 8月16日, 8月23日, 8月30日, 観月夜間運行9月8日, ガイド体験・機械室見学ツアー8月16日, 貸切運行8月30日

3. 下関市勤労青少年ホーム

(1) 事業概要

職員3名をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 市内で働く青少年が余暇を有意義に活用し、充実した職業生活ができるよう、フラワーアレンジメント・社交ダンスなどの教養講座、韓国料理、お菓子作りを開催し利用者の増加に努めた。
- イ. 若者の出会いと交流の場を提供するため、自主事業「恋するクッキング」を企画し、また、人々の出会いと親睦を図る交流の場を提供するため、自主事業「ユーパール杯親睦卓球大会」を開催し、利用増加に努めた。
- ウ. 平日の午前・午後の時間帯に卓球教室、ピラティスを開催し利用増加に努めた。
- エ. 地域との交流を図り、各種文化講座、自主事業を企画・開催し、施設の宣伝及び利用増加に努めた。
- オ. 祝日を開館し、利用増加に努めた。
- カ. 施設利用のため登録されているグループやクラブの代表者で組織する合同委員会を開催し、施設利用や活動が円滑に行えるように努めた。
- キ. 園児の作品を通じ、家族とのふれあいの場、市民の交流の場を提供するため「大好きな人の顔」作品展を開催し利用増加に努めた。
- ク. お客様へのアンケートを行い、要望の内容を下関市へ報告し、可能な限り施設運営へ反映するよう努めた。
- ケ. 他市ホームとの意見交換を行い、知識の習得及び技術向上に努めた。
- コ. 施設内及び周辺の巡視点検を行い、人身事故・火災・盗難等の防止など安全確保に努めた。
- サ. 職員の資質及びサービスの向上を図るため、施設内でのミーティングを実施し、また、施設間の連携を図り知識の習得及び技術向上に努めた。なお、各種研修会にも参加した。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 館内整備のための日常・定期清掃、機械設備運転管理のための冷暖房設備保守点検、衛生確保のための貯水槽清掃、ねずみ・昆虫等防除業務、安全管理のための消防用設備保守点検、夜間の機械警備業務については、それぞれ業務委託により実施した。
- イ. 1階娯楽室壁紙、2階集会室の壁紙改修を実施した。

(4) 事業実績

- ア. 利用者数 19,916人 利用料収入 1,103,470円
- イ. 営業日数 357日 (休業日は、12月28日から1月4日までの8日間)

4. 唐戸市場駐車場

(1) 事業概要

職員4名及び日々雇用職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 下関市と連携を図り、駐車場の管理運営に万全を期した。
- イ. 公金及び有価証券等の厳正なる管理に努めた。
- ウ. 利用車両増による場内渋滞を緩和するため、場内での案内放送のうえ事前精算を行った。
また、駐車場出入口周辺の交通整理等を実施することにより、入出庫の円滑化に努めた。
- エ. 施設内及び周辺の巡視点検を行い、人身事故・火災・盗難等の防止などお客様の安全確保に努めた。
- オ. 事故や災害が発生した場合、責任者の指示のもと緊急対応マニュアルによる対応ができるよう備えた。なお、平成26年度においては、ゲートバーを破損する等の事故が1件発生したが、職員が緊急対応を行い、お客様の利用において支障とならないよう被害を最小限に留めるように努めた。
- カ. 観光パンフレット等を設置し、下関地域における観光の広報に努めた。
- キ. 場内及び周辺の清掃を適時行い、環境美化に努めた。
- ク. 職員の資質向上、お客様へのサービス向上のため、外部講師によるコンプライアンス研修、クレーム対応研修等を受講した。
- ケ. 駐車場棟における自動精算機の改修及び事前精算機の新設に伴い、下関市や設置業者と連携を図り、お客様の安全確保や円滑な利用の確保に努めた。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 清掃業務による環境整備、夜間機械警備業務による安全管理を、業務委託により実施した。
- イ. 場内の自動精算機等の点検を常時実施し、業務に支障のないように努めた。

(4) 事業実績

- ア. 利用台数 410,847台 利用料収入 81,677,690円
- イ. 営業日数 365日

5. 下関市長府体育館

(1) 事業概要

職員3名をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 下関市と連携を図り、長府扇町運動広場・市民プールを含めた一体管理を行い、管理体制の強化に努めた。
- イ. お客様に対する適切な接遇を徹底し、より多くの市民に親しまれる施設となるよう努め、地域スポーツの振興に寄与した。
- ウ. 利便性向上を図るため、下関市公共施設予約システムの効率的な運用に努めた。
- エ. 各種のスポーツに対するお客様のニーズを把握・検討し、施設の使用効率を検討することにより、多くの市民が利用できるよう努めた。
- オ. 地域との交流を図るため、自主事業として「綺麗な身体作りエクササイズ」や「ユニカール教室」を企画・開催し、施設の宣伝及びお客様の増加に努めた。
- カ. 施設利用されるお客様の要望等を把握するためのアンケートを行い、自主事業の開催や施設の管理運営の参考とした。
- キ. 施設内及び周辺施設、駐車場の巡回点検を行い、人身事故、火災、盗難等の防止など安全確保に努めた。
- ク. 所轄消防署と連携を図り、定期的に消火訓練や避難訓練を実施した。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 館内環境の整備のための定期清掃、安全確保のための消防用設備保守点検、夜間の安全確保のための機械警備をそれぞれ業務委託により実施した。
- イ. 館内の照明設備・体育器具等について、常時点検を実施し、競技に支障の無いよう努めた。
- ウ. 2階フロア天井の照明灯調整修繕、女子トイレ大便器取替え修繕、男子トイレ小便器詰り修繕、屋内駐車場設置倉庫の火災報知器取付け修繕、屋外軒の破損修繕、玄関屋根の雨漏り修繕を実施した。

(4) 事業実績

- ア. 利用者数 57,493人 利用料収入 1,935,192円
(下関市長府体育館36,157人 長府運動場21,336人)
- イ. 営業日数 357日 (休業日は、12月28日から1月4日までの8日間)

6. 下関市市民プール（長府扇町運動広場）

(1) 事業概要

職員2名及び日々雇用職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 施設内の巡視点検を行い、人身事故、火災、盗難等の防止のための安全確保に努めた。
- イ. 下関市と連携を図り、施設の整備等含め管理体制の強化に努めた。
- ウ. 消防署の協力をいただき、監督・監視員に対する安全研修やAEDを使用した普通救命講習を実施し、万全な知識及び技術を体得させ、万一の水難事故に対し、迅速かつ適切な処置を行うことのできる体制を構築した。
- エ. プール水の水質検査及び薬品の投入管理を適切に行い、常時快適な環境、水質基準の維持に努めた。
- オ. 幼児から小学生までを対象とした自主事業「わーいプールでヨーヨー釣って遊ぼうよ!」の開催により、施設の宣伝及びお客様の増加に努めた。
- カ. 職員及びアルバイトにおいては、お客様に対する適切な接遇を徹底し、より多くの市民に親しまれるように努めた。
- キ. 長府扇町第1運動広場が下関市社会人野球大会、長府扇町第2運動広場が全国選抜小学生男子ソフトボール大会等の競技会場となっており、下関市や関係機関と連携を図り計画的に環境維持に努めた。
- ク. お客様を対象としたアンケートを実施し、管理運営の改善点の参考とした。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 各プール水循環ろ過装置の運転・保守点検及び水質管理、浄化槽維持管理及び除草清掃等の環境の整備、夜間の機械警備等による安全管理については、業務委託により実施した。
- イ. 場内の諸施設について常時外観点検を実施し、不良箇所の早期発見に努め、汚水槽内汚水ポンプ取替え修繕、円形トイレ屋根の雨漏り及び出入り口腐食塗装剥げ修繕、女子更衣室トイレ、円形トイレ、スタンド下男子トイレの配管修繕を実施した。

(4) 下関市市民プール事業実績

- ア. 利用者数 19,246人 利用料収入 2,477,370円
- イ. 開場日数 50日（7月13日から8月31日まで）

(5) 長府扇町運動広場事業実績

- ア. 利用者数 33,406人
- イ. 営業日数 357日（休業日は、12月28日から1月4日までの8日間）

7. 下関市彦島体育館

(1) 事業概要

職員3名及びパートタイム職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

ア. 下関市彦島庭球場、彦島地区公園多目的広場との一体管理を行い、下関市と連携を図り管理体制の強化に努めた。

イ. 多くの市民に利用していただき喜んでいただける施設となるよう、お客様の要望も踏まえ、利用環境を整えることや利用形態を見直す等、スポーツの振興を軸とした利用促進に努めた。

ウ. 利便性向上を図るため、下関市公共施設予約システムの効率的な運用に努めた。

エ. 幼児から中高年層まで幅広い世代を対象とした各自主事業を実施し、市民との交流を図ることによる施設のPR、利用の増加に努めた。

実施した事業

おげんき体操2014(前期)	(4月～9月)	24回
みんなで春リトミック!2014	(4月～6月)	10回
おげんき体操2014(後期)	(10月～3月)	24回
みんなで秋リトミック!2014	(9月～11月)	10回
トライアル!ミュージカル	(1月)	1回
HTK杯バスケ・コミュ2015+	(大会/2月及び3月)	各1回
卒団フェスティバル!2015	(キャンペーン/11月～3月)	

オ. 施設内を日常安全点検マニュアルに基づいて施設内点検を行い、人身事故・火災・盗難等の防止など安全確保に努めた。

カ. 所轄消防署と連携を図り、定期的に消火訓練及び避難訓練を実施した。

キ. 職員同士による情報共有等の自己啓発を行い、職員の資質向上に努めた。

ク. 施設を利用されるお客様を対象としてアンケートを実施し、管理運営等の参考とした。

(3) 設備管理の実施状況

ア. 環境整備のためのフロアワックス清掃、衛生管理のための貯水槽清掃、安全管理のための消防用設備保守点検、夜間の機械警備を専門業者への業務委託により実施した。

イ. 施設及び設備は常時点検を実施し、施設運営に支障の無いよう努めた。主な修繕として、館内バスケットボード改修や庭球場のネットポール取替、照明灯設備改修及び時計取替等を実施し、お客様からの要望に答え、また、利用する上での支障を最小限に留めた。

(4) 事業実績

ア. 利用者数及び利用収入

下関市彦島体育館	29,891人	2,480,305円
下関市彦島庭球場	28,504人	1,385,865円
彦島地区公園多目的広場	37,589人	549,000円
計	95,984人	4,415,170円

イ. 営業日数

体育館 357日(休業日は、12月28日から1月4日までの8日間)

庭球場・多目的広場 357日(休業日は、12月28日から1月4日までの8日間)

8. 下関市立美術館

(1) 事業概要

職員5名及び日々雇用職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 観覧券販売及び観覧料の徴収事務、美術館入館者への受付案内、館内展示品の監視、売店内の図録等物品販売及び図録売払代金徴収事務等の業務を適切に実施した。
また、図録等物品の販売については、各種展覧会に応じた特設コーナーを設置し販売促進に努めた。
- イ. 公金及び観覧券の厳正なる管理に努めた。
- ウ. 入館されるお客様への対応については、特段の注意を払い、状況に応じて適切な接遇を行うよう努めた。
- エ. 下関市の学芸員の事前講習を受ける等、お客様に展示品の説明ができるよう、知識習得に努めた。また、近隣の美術館および博物館の情報を収集し、必要に応じて案内を行った。
- オ. 下関市の職員と連携を図り、各種展覧会に応じた人員配置を行い、円滑に業務を実施した。
また、特別展開催中は、日々雇用職員を雇用のうえ、監視業務を遂行した。
- カ. 施設内の巡回点検等を行い、下関市が委託する警備業者と連携を図り、安全確保に努めた。
- キ. 下関市が実施する避難訓練に参加し、消火器具の取扱いおよび避難経路等を確認した。
- ク. クレーム対応研修等に参加し、職員の資質向上に努めた。
- ケ. 事故や災害は未発生であった。
- コ. 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、個人情報の保護と適正管理に努めた。

(3) 設備管理の実施状況

展示品の監視業務を行い、展示室を巡視点検し、異常があった場合は下関市の職員に報告し、必要に応じて警備・施設保守・清掃の各部門にも連絡を行い、美術館の円滑な運営確保に努めた。

(4) 事業実績

- ア. 入館者数 56,891人 観覧料収入 7,429,070円
- イ. 営業日数 296日
- 休館日 国民の祝日を除く毎週月曜日及び12月29日から1月3日まで その他、館内展示替え等に伴う下関市教育委員会が定めた臨時休館日

9. 下関市勤労者総合福祉センター

(1) 事業概要

職員3名をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 設置目的「勤労者の福祉の充実及び勤労意欲の向上を図る」の達成のため、最少の経費で最大の効果を上げるよう効率的な運営に努め、経費削減可能な方策等を考案し、下関市と連携して業務を遂行した。
- イ. 勤労者の福祉の充実及び勤労意欲の向上を図るため、会議室及びアリーナ（体育館）等活動の場を提供し、利用拡大に向けてお客様のニーズに対応した講座の開催に努めた。
- ウ. 長府扇町安全協議会会員を通じて施設及び講座のPRを続けるなど常に地域との交流を図り、稼働率の向上及びお客様の増加に努めた。
- エ. 国や県の委託を受けて、職業訓練等で3～6ヶ月にわたる長期利用ができることを積極的に広報し、お客様の増加と増収に努めた。
- オ. 施設内及び周辺の巡視点検を行い、人身事故・火災・盗難等の防止など安全確保や除草・ゴミ回収等の環境整備に努めた。
- カ. 消防署と連携を図り、定期的に消火訓練や避難訓練を実施した。
- キ. 職員の資質向上のため、施設内でのミーティングを実施し、施設間の連携で知識習得及び技術向上に努めた。また接遇研修・クレーム対応研修等、各種研修会に参加した。
- ク. 責任者の指示のもと、緊急対応マニュアルにより事故や災害発生時に適切に対応できるよう備えた。
- ケ. 第12回長府企業フェスタにブースを出展し、パネル展示により施設及び各種講座の広報・PRを実施した。
- コ. 市民の余暇の充実を図り、施設利用者の増員を目的とした自主事業を開催した。
- サ. 周辺企業を訪問し、施設及び講座のPRを実施した。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 機械設備の運転保守管理のための冷暖房設備や自動ドアの保守点検、館内・周辺環境整備のための日常・定期清掃や樹木剪定・草刈や粗大ゴミ収集、衛生管理のための浄化槽維持管理、安全管理のための消防用設備保守点検、夜間の安全管理のための機械警備等を、それぞれ業務委託により実施した。
- イ. 照明機具(安定器)や消防用設備の改修を実施した。

(4) 事業実績

- ア. 利用者数 48,810人 利用料収入 6,384,880円
- イ. 営業日数 345日（休業日は、国民の祝日及び12月29日から12月31日までと1月2日から1月3日までの合計20日）

10. 長府庭園

(1) 事業概要

職員3名をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 公共の施設である庭園の設置目的と指定管理者の意義を認識し、お客様に対し安心・安全の確保、サービスの提供及び業務の効率を向上させることに努めた。
- イ. お客様に対しては、おもてなしの心で接し、ゆったりとした空間の中で、四季折々の木々花々の美しさを感じ、楽しんでいただけるように努めた。
- ウ. 職員手作りのマップにイベントや耳より情報を掲載し窓口で来園者に配布し、より楽しんでいただけるように努めた。
- エ. 書院及び茶室を有効活用していただけるように施設のPRに努めた。
- オ. 蔵は、年間を通じて市民ギャラリー等としてふさわしいものを誘致し、お客様の増加に努めた。
- カ. お客様より要請があれば、職員が説明・案内を行いサービス向上に努めた。
- キ. 地域との連携を図り、下関市が主催する行事や地域行事等への参加、協力を積極的に努めた。
- ク. 「孫文蓮」の開花に伴い、観賞会を実施した。古布あそび・ひな飾り展等も自主企画で実施し、下関市の広報誌、報道関係等に情報提供することで、市民や周辺地域の方々への周知徹底を図り、お客様の増加に努めた。
- ケ. アンケートの実施を行い、お客様の声を聞くことにより、要望等に応えるように努めた。
- コ. 施設の安全維持のため施設内の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災、盗難防止の為に安全確保に努めた。
- サ. 万が一事故や災害が発生した場合、緊急対応マニュアルにより応急処置を行い、報告、連絡、確認を速やかに行うための体制を整えた。
- シ. 職員資質向上のため、施設内でのミーティングを実施し、常に職員間の意見交換を行い、接遇研修や各種研修会等へ参加した。
- ス. 下関市が「しものせきエコマネジメントプラン」に基づく環境方針を制定していることを考慮し、省エネルギー、省資源及び廃棄物減量などの環境への負荷低減を図るよう、職員は基よりお客様、第三者委託業者にも指導の徹底を図った。
- セ. 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等関係法令を遵守するとともに、個人情報の保護と適正管理に努めた。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 日常清掃及び環境整備、中央監視装置保守や夜間機械警備の安全管理、また、庭園内の美しい景観を保つ為の維持管理を業務委託により行った。
- イ. 施設の設備等について随時点検を行い、お客様の安全確保及び使用に支障とならないように努めた。

(4) 事業実績

- ア. 利用状況 利用者 70,550人 利用料収入 7,483,716円
- イ. 営業日数 357日
- ウ. 休業日 12月28日から1月4日まで (8日間)

11. 下関市ふれあい健康ランド

(1) 事業概要

職員8名及びパートタイム職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 平成24年度から平成27年度までの4年間、下関市より指定管理者として指定を受け、下関市より示されたビジョン及び指標に沿った管理運営を行い設置目的の達成に努めた。
- イ. 平成26年4月1日に施行された使用料改定に伴い、お客様への説明を徹底することで支障なく運営を行った。
- ウ. 長期化した高温水配管不良による温浴施設閉鎖に伴い、下関市からの通知に基づきお客様への説明や苦情への対応を行った。
- エ. 所轄消防署の協力を得て、消防訓練及び普通救急救命講習(AED取扱い含む)を年2回(5月、11月)受講し、「防火優良認定証」を付する施設としての消火・避難誘導対策及びAED救急ステーションとしての応急手当技術向上に努めた。
- オ. 緊急時には訓練の成果を生かし、緊急対応マニュアルに沿った初期対応及び関係機関への通報を適切かつ冷静に行った。
- カ. 幅広い世代の利用動機を高め、お客様の底辺拡大を目的とした自主事業を実施した。水泳53教室、運動40教室、その他の教室又はイベント4事業で延べ15,272人の受講者を得た。
- キ. 下関市より、一般高齢者介護予防教室業務を受託し、当該業務の実施目的を達成するとともに、お客様の増員及びお客様の底辺拡大に努めた。また、受託事業終了後、当該参加者が継続して運動を習慣化できるよう脳げんき体操教室を実施し、自主グループの育成に努めた。
- ク. 下関市保健部成人保健課の協力を得て市民の一日健康相談を開催し、市民の健康に対する意識を深めた。また、多くの市民のふれあい・憩いの場を提供することを目的とした園児の絵画展を開催し、幅広い年齢層のお客様に来館いただくように努めた。
- ケ. 健康維持や機能改善を目的とした市民のニーズに対応し、リハビリ的傾向のある内容を含めた水泳教室を実施してプール利用の増員に努めた。
- コ. 夏休み期間中の休業日に臨時営業を行い、市民サービスの向上及びお客様の増員に努めた。
- サ. 施設内外にわたる詳細な点検を行うとともに、高温水配管の状況を適宜点検し、異状の早期発見に努めた。
- シ. 急な高温水設備不良による温浴施設閉鎖に伴い、お客様への説明や、会場変更及び中止を余儀なくされた水泳教室の受講者に対し適切な対応を行った。
- ス. 高温水設備等の管理については、関係法令に基づいた業務マニュアルにより、監視業務、施設点検及び水質検査等を実施し、管理に遺漏がないように努めた。水質管理については、水質検査及び薬品の投入管理等を適切に実施し、常時快適な環境確保と水質基準の維持に努めた。
- セ. 職員の資質及び技能向上を目的とした各種講習会の受講及び事業運営の内容を充実させるため、基礎水泳指導員等の資格の取得をした。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 余熱関連設備運転保守等、専門的な知識・技術・器具を要する特殊な設備機器の保守点検及び消防用設備点検等、法律に基づく点検・検査業務については専門業者に業務を委託し、適切かつ確実に実施した。
- イ. 温水プール・浴場の水質管理、設備・施設点検について、業務マニュアルに基づき確実に実施し、危険要因の早期発見・排除に努め、常時安全な環境を維持した。

(4) 事業実績

- ア. 利用者数 84,323人 利用料収入 19,368,858円
- イ. 熱交換器定期整備による休館 11月25日から12月7日まで13日間
- ウ. 高温水設備不具合調査に伴う温浴施設閉鎖 10月11日から10月17日まで7日間
- エ. 高温水配管不具合に伴う温浴施設閉鎖 10月18日から1月29日まで104日間
3月11日から3月31日まで21日間

1.2. 長府毛利邸

(1) 事業概要

職員4名、日々雇用職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 四季折々の趣が味わえるよう清掃美化による快適な空間の提供や、部屋の各所に季節の野の花を生け、接客とあわせ心に届くおもてなしを心がけ、リピーターの増員に努めた。
- イ. 長府観光協会の理事に所属し、城下町長府活性化のため連携協力し誘致に取り組んだものとして「彩りの城下町長府」を春と秋の2回、合同イベントして開催、また、高杉晋作決起150年記念イベントを開催し集客効果をあげた。
- ウ. 施設の設置条例に基づいた自主企画を23件実施した。
著名な講師による歴史講座の開催により教養文化の向上に努めた。「城下町長府ひなまつり」にあわせ2件のさげもんの作品展や和の文化にふれる作品展、舞台衣裳の作品展など開催し、集客増員に努めた。また、作品展との相乗効果を図るため、体験講座を取り入れた。平成10年の一般公開より17年、入場者100万人を達成したため、記念の式典を実施し、広報宣伝に努めた。
- エ. 施設の雰囲気にあう自主事業を14件実施した。
お客様に好評な抹茶提供は、季節に沿ったイベントの考案・実施により利用促進効果がみられ、ツアーでの組み込みや予約も増加し実績も伸びた。また、新たに茶室「淵黙庵」のPRを兼ねた茶席体験の実施や季節感のある梅ジュース・甘酒の販売実施により、話題性による集客および利用促進効果がみられた。
- オ. 市報やマスコミ、様々な広報媒体の活用、施設ホームページの頻繁な情報更新等、情報社会に対応した発信にも努めた。観光関連施設へ、パンフレットやチラシをこまめに補充した。また、下関市が主催する観光施策への協力や民間企業と提携した特典提供により利用促進に努めた。新たな観光業者との契約を結び、観光客へのPRおよび誘致に努めた。
- カ. 規約の遵守、効率的・効果的な予算の執行、適正な業務の遂行、環境への負担軽減に努めた。プライバシーマーク取得に際し研修参加や個人情報取り扱いの管理徹底に努めた。定期的な責任者会議やコンプライアンス研修、クレーム対応研修、サービス講習会を受講し、苦情やトラブルの防止及び業務運営におけるレベルアップを図った。
- キ. お客様アンケートや感想ノートへの記入により要望や意見の把握に努め、可能な限り催しとして取り入れた。また、要望により施設説明の案内にも積極的に対応した。こども文化パスポートの参加や中学生のグループ学習での質問対応、インターンシップの受け入れを通し、日本文化の良さを知り学べるよう対応に努めた。
- ク. 職員による邸内の巡回点検を度々行い、人身事故・火災・盗難等を未然に防ぎ常にお客様の安全確保に努めた。事故や災害が発生した場合の緊急対応マニュアルや連絡網を備え、即時対応できるよう努めた。また、普通救命講習を受講し、施設にAEDを設置し救命措置の向上に努めた。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 庭園の樹木や苔の維持管理、邸内の環境整備、池の循環設備の保守を業務委託し確認とともに報告等を義務づけ、施設全体の維持管理に努めた。
- イ. 消防設備の点検を定期的実施し、常時災害等に備えた。また業務終了後も機械警備・緊急時の警備員の派遣を警備会社に委託し、夜間においても緊急連絡体制をもって24時間管理に万全を期するよう努めた。
- ウ. 消火栓ホース取替、母屋窓ガラス取替、空調機ドレンポンプ取替、樹木根幹保護柵取替、滝口の漏水の修繕を実施した。

(4) 事業実績

- ア. 利用状況 利用者 56,707 人 利用料収入 7,942,170
- イ. 営業日数 357日
- ウ. 休業日 12月28日から1月4日まで (8日間)

13. 粗大ごみ等受付センター

(1) 事業概要

職員4名及びパートタイム職員11名をもって、環境部クリーン推進課の管理体制のもと、日々繁閑を考慮した人員配置による体制をつくり、サービスの向上及び苦情軽減に努め、粗大ごみ等受付業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

ア. 排出されるお客様から粗大ごみ等の戸別収集依頼を電話及びインターネットより受付し、収集地図の印刷及び伝票整理をした後、的確にクリーン推進課へ回付した。

イ. のべ244日（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く。）受付業務を実施した。

ウ. 環境部クリーン推進課との連携を密にし、相違遺漏のないよう努めた。

エ. 現状の排出規則及び受付方法に問題があった場合は、直ちに環境部クリーン推進課と協議し、支障のない受付業務を実施できるよう努めた。

オ. 見直しのあった排出規則については、受付時に規則の変更に沿ったアナウンスをすることで、市の広報を補完する役割を担った。また、広報前のごみ百科やホームページ等を事前確認させていただくことで、市民の皆様からの声が反映されるよう努めた。

カ. 職員の資質向上を目的として、各種研修を受講した。また、受講内容を共有するためのスタッフミーティングを実施した。

平成26年度受講実績

- ・電話対応研修3名（4月19日 主催 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会山口県支部）
- ・電話対応技能検定2級受験講座1名（5月23日、5月28日 主催 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会山口県支部）
- ・電話対応技能検定1級受験講座1名（8月27日、9月4日 主催 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会山口県支部）
- ・第3級陸上特殊無線技士養成講座1名（11月4日 主催 公益財団法人日本無線協会）
- ・コーチング研修1名（1月15日 自社講師手配による研修）
- ・クレーム対応研修1名（3月13日 自社講師手配による研修）

キ. 高度な実践力・指導力をもつオペレーターを育成するため、電話対応における検定試験を積極的に受験するよう職員の啓発に努めた。

平成26年度の資格取得実績

- ・ビジネス電話検定知識A級合格者3名（主催 公益財団法人実務技能検定協会）
- ・電話対応技能検定3級合格者2名（主催 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会）
- ・電話対応技能検定2級合格者1名（主催 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会）

ク. 実践に近い形式で、高い水準のオペレーターと競い合うとともに、質の高い電話対応を学習した。

平成26年度全国電話対応コンクール 大会入賞実績

- ・山口県大会地区予選 下関地区 最優秀賞1名、優秀賞6名、敢闘賞4名
- ・山口県大会出場5名 優秀賞（2、3位）2名、特別賞（7、8位）2名

ケ. 職員の資質向上のため、年間を通じて下記方策に取り組んだ。

- ・スタッフミーティングの実施による情報共有及び運用改善。
- ・電話対応チェックリスト（自己分析）による電話対応水準の向上。
- ・卓上鏡を設置し、「笑声」を実践した好感をもたれる電話対応。

(3) 設備管理の実施状況

株式会社富士通エフサスの定期的な保守点検を実施、また機器異常発生時は、環境部クリーン推進課及び株式会社富士通エフサスに対応依頼した。

(4) 事業実績

		(前年度)	(対前年度比)
受付件数			
電話受付	117,454件	(119,733件)	(98.1%)
インターネット受付	16,850件	(15,460件)	(109.0%)
計	134,304件	(135,193件)	(99.3%)

14. 下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場

(1) 事業概要

職員10名及び日々雇用職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 体育施設の設置条例、同規則及び関係法令等を遵守し、体育施設等を常に良好な状態において管理し、施設の設置目的を達成できるように努めた。
- イ. 下関市や下関市体育協会、各スポーツ団体との連携を行い、下関市と地域スポーツの振興と発展向上に努めた。
- ウ. 施設の安全対策として毎日開閉場前の巡視点検を行い、人身事故、火災、盗難等の防止を行い安全確保に努めるとともに、台風接近時には積極的に情報を得て、災害予防対策を実施した。また、消防局等の要請に応じ、ドクターヘリの発着に対応した。所轄消防署の指導のもとに、消防法に基づいた消火訓練及び避難訓練を実施した。
- エ. 利便性向上を図るため、下関市公共施設予約システムの効率的な運用に努めた。
- オ. お客様からの要望に対しては、アンケート調査を行い、内容を精査して要望を実施するように努めた。
- カ. 所轄の消防署に協力依頼を行い、職員1名（主任）が防火管理者再講習を更新し、職員2名、嘱託職員7名が消防署員立ち合いで消防訓練を実施した。
- キ. 下関市体育館において、自主事業「綺麗な身体作りエクササイズ」、「足腰を鍛える太極拳教室」、「初めてのテニス教室」、「ボールウォーキング教室」を開催し、施設の利用者増を図った。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 日常清掃等による環境整備状況、夜間機械警備による安全管理状況及びグラウンド維持管理状況など適時実施状況を確認し、お客様の安全確保や競技に支障をきたさないよう努めた。
- イ. 消防用設備や機械警備機器、バスケットゴールなど運動機器の異常の有無を常時確認し、お客様の安全確保や円滑な利用に努めた。

(4) 事業実績

ア. 利用者数及び利用料収入

下関市体育館	65,154人	5,851,618円
下関市営下関陸上競技場	76,656人	3,787,243円
下関市営下関庭球場	95,161人	6,464,110円
下関市弓道場	8,013人	580,990円
下関市アーチェリー場	358人	5,833円
下関市相撲場	599人	84,660円
下関市向洋グラウンド	25,076人	1,535,500円
下関市フットサル場	8,434人	1,174,835円
計	279,451人	19,484,789円

- イ. 営業日数 357日（休業日は、12月28日から1月4日までの8日間）

15. 下関市満珠荘

(1) 事業概要

職員7名、日々雇用職員及びパートタイム職員をもって、多くの市民の方が気軽に利用でき、健康増進や休養で利用していただく施設として、健全な運営に努めた。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 平成26年度実績は、宿泊者4,786人、浴場利用者41,876人となり、宿泊者数は当初計画を若干下回ったが、浴場利用者数は計画を上回った。
- イ. 下関市と連携を図り、多くの市民の方が気軽に利用できる施設として、浴場利用者、宿泊者の方が安心・安全に利用できるよう健全な運営に努めた。
- ウ. 市内、市外の多くのお客様にご利用頂くために、「ふくコース」等の宿泊プランの企画及び実施、日帰り入浴スタンプカードの継続実施、またインターネット予約の積極的な活用を行い、新規のお客様及びリピーターの確保に努めた。また、クレジットカード精算の導入を行い、サービスの向上に努めお客様の確保に努めた。売店においては、宿泊のお客様が当館でご購入いただけるように商品棚の新規増設を行い、品揃えに重視したレイアウトを行い増収に努めた。
- エ. レストラン営業に際し、地元食材を活用したメニューの開発、食材の確保、食器仕入れ、サービス提供等を図り、リピーターの確保に努めた。また、平成27年度に向けた宿泊プランの開発においては、地元食材の生産者、利用層の中心である女性団体等を交えた試食会を実施するなど、積極的に研究に努めた。お客様の利便性の向上では、開設当初より要望の多かった送迎車の導入、また、テーブル席10席の増設等の設備投資を積極的に実施し、市民サービス及び増収に努めた。衛生管理においては、衛生管理マニュアルに基づき、安全・安心かつ高品質の食事の提供に努めた。
- オ. 調理職員による料理教室を定期的実施し、市民サービス及び当施設のPRに努めた。また、フラワーアレンジメント教室を実施し、多目的室の効率的な利用に努めた。
- カ. 新聞、情報誌等へ積極的に情報提供を行い、施設のPR及びお客様の確保に努めた。
- キ. 所轄の消防署と連携を図り、自主避難訓練を実施し、安全・安心な施設管理に努めた。
- ク. 客室に用意しているアンケートを活用し、お客様の要望や意見の把握に努め、運営の参考とするよう努めた。

(3) 事業実績

- ア. 利用者数 46,662人
- イ. 営業日数 359日（法定点検による休業6日）

16. 下関市営宿舎サングリーン菊川

(1) 事業概要

職員5名、日々雇用職員及びパートタイム職員をもって、市民の方が健康的で気軽に利用できる宿泊施設として、健全な運営に努めた。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 下関市と連携を図り、多くの市民の方が気軽に利用できる施設として、食事利用者、浴場利用者、宿泊者の方が安心・安全に利用できるよう管理運営に努めた。
また、営業戦略に基づく各種企画の実践により、利用者数を拡大した。
なお、公共施設であることを念頭に置き、公平な利用環境を提供した。
- イ. 市内、市外の多くのお客様にご利用いただくために、「季節感のある料理自慢の宿」、「良質で様々な効能のあるきくがわ温泉」、「団体利用の誘致に欠かせない送迎バス」をメインに、4半期ごと四季に合わせた宿泊プランを開発し、新聞折込やホームページ、ダイレクトメールなど多様な広告媒体での広報を行った。また、下関市合併10周年記念として、ビジネスマンや家族向けの宿泊プランや日帰り入浴フェアを行うなど、新規のお客様及びリピーターの確保のための利用促進に努めた。さらには、ネットエージェント及び旅行会社との幹旋契約を締結し集客に努めた。
- ウ. 下関市及び地元地域の方などと連携し、菊川町における体験型教育旅行を受け入れるため、先進地である大島町への視察を行った。また、魅力ある体験交流プログラム策定のため、受入地域協議会等関係者との研修会を開催した。
- エ. 市内の船会社との連携により、中国の青島市からのご宿泊利用を獲得した。平成27年度においても自転車愛好家の方の利用など、多数の予約を獲得できる見込みがあることから、平成27年3月には山口県や下関市とともに、青島市へのセールス活動を行った。
- オ. 一体管理する菊川温泉プールとともに「下関菊川温泉プールにおける入場者10万人達成感謝イベント」、宿泊者への温泉プール無料サービス特典などを開催し、お客様サービスや施設の周知に努めた。
- カ. 地元でのイベントやお祭り「チャリティーゴルフ大会」「菊川町夏まつり・大花火大会」「小日本ぶらうま鍋」等、積極的に参加・協力・協賛することにより地域活動への貢献に努めた。
- キ. 職員の資質、サービスの向上及び経営方針を徹底するため、毎日施設内でのミーティングを実施した。
また、外部講師によるコンプライアンス研修、クレーム対応研修等を受講し、職員間での共有に努めるとともに、苦情やトラブルの防止及び業務運営におけるレベルアップを図った。
- ク. 施設を宿泊利用されるお客様へアンケートを実施し、ご要望や施設に対するご意見を把握し、管理運営を行ううえで参考とした。
- ケ. プライバシーマーク取得に際し講習を受講するとともに、個人情報保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、一般公開しない情報の保護についても適正に管理した。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 建築物及び敷地の維持管理については、マニュアルに基づく日々の点検により適正に管理した。
- イ. 法律に基づく検査業務や特殊な設備の保守点検など、専門的な知識や技術を必要とする業務については、専門業者に委託し、効率的な管理に努めた。

(4) 事業実績

ア. 宿泊者数	4,991人
イ. 浴場利用者数	22,269人
ウ. 営業日数	362日（施設点検による休業：3日）

16. 菊川温泉プール

(1) 事業概要

職員2名及びパートタイム職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 幅広い年齢層の利用促進や、リハビリ等で利用されている方々にも快適な利用ができる、健康増進の場を提供し、市民の福利向上に寄与した。
- イ. 公共施設であることを念頭に置き、公平な利用環境を提供した。
- ウ. 施設の衛生管理について、水質など関係法令に定められた基準で適正に維持することはもとより、室温・水質の管理、更衣室の清掃を行うなど、常に衛生的な環境の確保に努めた。
- エ. 光熱水料費、消耗品費など省エネ意識を持ち、経費の削減に努めた。
- オ. 管理運営全般に関する意見・情報交換など下関市担当課との連携により、運営方針についての共通認識を持ち効率的・効果的な施設運営を図った。
- カ. 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、一般公開しない情報の保護についても適正に管理した。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 温泉プール・建築物及び敷地の維持管理については、マニュアルに基づく日々の点検により適正に管理した。
- イ. 法律に基づく検査業務や特殊な設備の保守点検など、専門的な知識や技術を必要とする業務については、専門業者に委託し、効率的な管理に努めた。

(4) 事業実績 (開館日は4月1日から3月31日までの間で329日間)

- ア. 利用者数 40,956人
- イ. 利用収入 7,838,030円

17. 売店

(1) 事業概要

職員3名をもって、長府庭園売店、下関市ふれあい健康ランド売店の2店舗を独立採算により運営を行った。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 施設の特徴や四季折々に合わせた商品構成、商品レイアウトの変更を行い、お客様の購買意欲を高めることに努めた。
- イ. 施設のオリジナル商品（孫文蓮コースターやココロもカラダも生きカエルタオル）の販売を行い、施設の広報宣伝を行った。
- ウ. 長府庭園売店では、売店入口に常に季節の花を生け、おもてなしの心を大切に接客を心がけた。長府庭園の代名詞ともいえる孫文蓮をPRするため、蓮茶や蓮うどんといった関連商品の販売を行い売上増に努めた。
また、一の蔵での展示利用者から商品を受託し、販売を行った。各種観光キャンペーン等に協力し、お客様へのサービス向上を図った。
- エ. 下関市ふれあい健康ランド売店では、水泳用品をはじめ、地元で収穫される新鮮野菜や新米等を生産者から受託のうえ店頭販売を行い、地元産の高品質をお客様へ周知するとともに売上の増額に努めた。
施設が行った消防訓練（5月及び11月）と普通救命講習にも参加し、お客様の安全確保を目的に技術の向上に努めた。
平成27年3月29日、イベント「射的まつり」を開催し、お客様へのサービス向上にも努めた。
- オ. 各店舗では商品の品質管理に注意するとともに、常にお客様ニーズの把握に努め、新商品の販売や委託商品での販売促進を行った。
- カ. 下関市内の各公民館や公共施設に清涼飲料水やアイスクリームの自動販売機を設置し、お客様への利便性の確保に努めた。
- キ. 火の山展望台に望遠鏡を、また、下関市ふれあい健康ランドにマッサージ機を設置し、お客様へのサービス向上に努めた。
- ク. 店舗等の売上金やつり銭準備金については、毎日の集計及び帳票作成等、適正かつ厳正に取り扱い処理を行った。また、消費税率改正に係る取引事業者との連絡調整やお客様への店頭通知を行い、円滑な移行に努めた。

(3) 事業実績

ア. 売店事業収益	352,891 円
イ. 販売手数料	2,708,631 円
ウ. 自動販売機収益	4,781,775 円
エ. 遊戯機使用料	365,562 円
オ. 実費弁償金収益	1,355,977 円
カ. 雑収益	400,633 円

18. 駐車場

(1) 事業概要

職員1名をもって、関彦橋（第1、第2、第3）、筋川及び迫町駐車場の管理運営を行った。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 山口県下関土木建築事務所から道路用地を借り受け、月極駐車場を営業した。
- イ. 職員による定期的な巡回点検を行い、事故や火災等の発生を未然に防止するとともに、場内清掃や区画整備など駐車場設備の維持管理を行った。
- ウ. 定期的に植栽地の選定等を行い、駐車場の衛生と美観の維持に努めた。
- エ. 契約車両以外の不法駐車の見つけや通報を受けた際は、直ちに所轄警察署に協力を得て、不法駐車排除と駐車場の安全、公平な利用の確保を図った。

(3) 事業実績

- ア. 関彦橋駐車場、筋川駐車場、迫町駐車場の3箇所合計の契約台数は、84台であった。
- イ. 駐車料 5,633,732円
- ウ. 雑収入（車庫証明・受取利息） 1,802円

法人会計

本 社

(1) 事業概要

- ア. 常勤役員 理事長 1 名
- イ. 職員 9 名をもって、本社事業及び福利厚生事業の業務を実施した。

(2) 事業実績

- ア. 新たな理事長のもとに、平成 26 年度改革実施計画に基づき、下関市役所総務部総務課の指導もいただき、主に満珠荘やサングリーン菊川の経営改善、自主事業の推進や新人事制度の準備に取り組んだ。
- イ. 下関市や外部機関と連携を図り、評議員会や理事会を開催のうえ公社の業務を執行した。
- ウ. 下関市との指定管理に係る協定の締結や、業務委託に係る受託契約の締結をそれぞれ行い、各施設の事業計画書・収支予算書等の策定及び事業報告書・収支決算書等を作成した。
- エ. 職員の人事、給与、福利厚生に関する業務の一括管理を行った。
- オ. 管理運営を行う全事業所の委託業務や物品購入業務などの契約事務を行い、複数の事業所で共通する内容は取りまとめて入札執行等を行い、管理経費の節減に努めた。
- カ. 一般財団法人移行後の事務手続きの円滑化を図るため、山口県が主催する公益法人制度改革に関する説明会に参加し、変更手続きや定期提出書類等の内容の習得に努めた。
- キ. 本社及び各事業所の責任者が、相互の情報交換に基づく協議を定期的に開催することにより、効率的な組織運営と業務改善に努めた。
- ク. 平成 26 年 8 月及び 11 月に開催された下関市経営検討委員会及び同年 8 月に開催された下関市出資法人調査特別委員会へ出席のうえ、経営改革の推進状況の報告等を行った。
- ケ. 下関市が策定する「しものせきエコマネジメントプラン」に基づき、本社にて使用する光熱水料費の削減やグリーンマーク商品等の購入、第三者委託などの受託事業者へも協力を行うことで、環境への配慮や環境保全に努めた。
- コ. 当公社職員の個人情報や、各施設を利用される際に提出を受ける申請書等には、お客様の個人情報の記載があるので、個人情報の保護と適正な取り扱いに努めるよう各事業所責任者に指導した。なお、プライバシーマーク付与については、当公社マニュアル等を定め運用を行い、平成 27 年 4 月に取得した。
- サ. 職員の福利厚生事業として、定期的に健康診断を行い、職員の健康状態を確認することで生活習慣病の予防、健康維持及び健康増進に努めた。

福利厚生事業

(1) 事業概要

当事業は「高年齢者多数雇用奨励金」を財源としたもので、当公社職員の福利厚生、勤労意欲の増進と奨励を目的として、業務を実施した。

なお、平成 26 年度の事業において、当事業の繰越金をほとんど執行し、次年度以降も収益の見込みもないことから、平成 26 年度をもって閉鎖することとした。

(2) 事業実績

- ア. 公益財団法人日本体育施設協会が主催する「体育施設管理士養成講習会」を受講のうえ、職員に資格を取得させるとともに、同協会が主催する「スポーツ施設等安全管理講習会」、「体育施設研究協議会」へ参加し、知識技能の習得に努めた。同様に、公益財団法人日本電信電話ユーザ協会が主催する「電話対応技能検定」を受験のうえ資格取得させ、「電話対応研修」を受講し、職員資質や市民サービスの向上に努めた。
- イ. 文化・スポーツ行事への参加助成に関する要領を策定のうえ、下関海響マラソン等へ参加した職員へ、参加料等の助成を行った。
- ウ. 社有車 2 台の安全運行と適正な管理を目的として、車両検査や修繕を実施した。

平成26年度 利用状況表

上段 26年度
下段 25年度

NO.1

月	下関市勤労青少年ホーム		下関市勤労者総合福祉センター		火の山地区観光施設	
	利用者数	金額	利用者数	金額	火の山立体駐車場	火の山ロープウェイ
					利用台数	利用者数
4	1,445	89,850	3,156	495,240	7,636	10,727
	1,576	89,240	4,370	657,450	7,607	9,849
5	1,995	86,160	4,107	431,930	6,498	6,755
	1,877	82,620	3,969	522,520	6,493	6,500
6	1,779	83,390	3,653	447,450	3,553	2,558
	1,736	88,660	4,136	523,840	3,604	2,453
7	1,921	98,040	3,265	449,640	3,382	2,094
	1,767	93,910	3,932	494,180	3,800	2,077
8	1,962	91,750	3,392	542,580	5,088	4,858
	1,913	92,000	3,321	446,100	5,417	5,268
9	1,781	87,150	4,611	509,310	5,205	4,002
	1,467	95,300	4,081	508,190	5,020	3,470
10	1,714	84,730	4,651	621,640	4,786	4,563
	1,841	94,730	4,367	510,140	4,778	3,523
11	1,616	89,030	4,648	508,850	4,692	3,849
	1,694	86,260	4,118	549,420	4,182	3,123
12	1,553	100,200	4,014	804,240	3,103	0
	1,844	99,230	3,797	500,960	3,424	0
1	1,191	96,380	4,572	645,910	3,626	0
	1,935	94,700	3,454	546,960	4,049	0
2	1,333	97,430	3,988	576,620	3,232	0
	1,547	93,390	3,508	479,900	3,222	0
3	1,626	99,360	4,753	351,470	6,465	5,162
	1,957	97,890	4,008	338,300	5,518	3,907
合計	19,916	1,103,470	48,810	6,384,880	57,266	44,568
	21,154	1,107,930	47,061	6,077,960	57,114	40,170
差異	△ 1,238	△ 4,460	1,749	306,920	152	4,398

対前年 94.1% 99.5% 103.7% 105.0% 100.2% 110.9%

平成26年度 利用状況表

上段 26年度
下段 25年度

NO.2

月	長府庭園		下関市ふれあい健康ランド		長府毛利邸	
	利用者数	金額	利用者数	金額	利用者数	金額
4	5,250	567,886	8,495	1,963,020	4,026	534,780
	4,927	522,980	7,896	1,817,050	3,489	528,720
5	5,653	650,862	9,646	2,270,934	5,494	752,360
	5,437	675,100	9,601	2,158,950	5,614	817,500
6	5,200	509,926	10,047	2,389,168	3,642	493,250
	4,268	482,230	10,858	2,648,350	3,292	427,580
7	3,578	352,932	11,147	2,689,084	2,304	316,500
	3,530	367,530	12,913	3,244,640	2,582	320,360
8	3,189	322,056	14,547	3,771,436	2,834	407,320
	2,796	281,920	14,285	3,752,050	2,301	343,700
9	4,717	476,732	10,269	2,398,694	3,026	466,180
	5,420	462,310	10,325	2,476,010	2,438	367,620
10	6,100	594,136	4,011	681,284	4,379	662,420
	6,451	549,708	9,473	2,178,050	3,767	556,340
11	18,082	2,130,758	733	53,840	11,037	1,631,960
	17,197	1,979,450	2,215	442,120	11,822	1,578,420
12	2,271	279,342	352	32,360	2,214	342,720
	4,297	508,130	4,979	1,118,810	2,938	424,240
1	2,632	236,918	1,810	251,382	2,460	348,360
	3,970	410,140	8,001	1,784,170	2,285	328,080
2	6,747	591,006	9,095	2,133,116	7,816	887,900
	6,940	763,570	8,098	1,771,840	7,059	941,460
3	7,131	771,162	4,171	734,540	7,475	1,098,420
	6,004	722,670	8,096	1,860,520	6,361	901,640
合計	70,550	7,483,716	84,323	19,368,858	56,707	7,942,170
	71,237	7,725,738	106,740	25,252,560	53,948	7,535,660
差異	△ 687	△ 242,022	△ 22,417	△ 5,883,702	2,759	406,510

対前年 99.0% 96.8% 78.9% 76.7% 105.1% 105.3%

平成26年度 利用状況表

上段 26年度
下段 25年度

NO.3

月	唐戸市場駐車場		長府体育館			長府扇町運動広場	市民プール	
			長府体育館		長府運動場			
	利用台数	金額	利用者数	金額	利用者数	利用者数	利用者数	金額
4	31,181	6,140,190	2,795	185,358	2,145	3,661	0	0
	31,993	5,937,000	6,384	170,950	1,851	4,303	0	0
5	35,376	7,587,680	2,469	164,698	1,986	3,682	0	0
	35,075	7,023,600	2,739	196,930	2,138	6,430	0	0
6	29,339	5,447,040	2,721	186,715	1,599	2,544	0	0
	29,043	5,823,800	2,785	183,235	1,617	2,502	0	0
7	31,334	6,390,990	2,684	216,188	1,814	2,246	9,226	1,182,330
	34,018	5,418,840	6,402	171,600	1,728	4,122	11,637	1,437,650
8	41,311	9,508,360	2,362	177,488	1,549	1,960	10,020	1,295,040
	42,135	8,655,160	2,220	173,780	1,540	3,430	16,282	2,203,900
9	35,213	8,383,630	1,667	110,938	1,760	3,741	0	0
	34,992	7,032,060	2,756	187,400	1,693	6,005	0	0
10	31,208	6,367,240	1,591	92,198	1,953	4,150	0	0
	32,052	7,321,600	3,094	217,250	2,121	4,646	0	0
11	34,605	6,244,450	1,543	105,278	2,024	4,737	0	0
	31,775	5,454,840	2,540	204,280	2,091	6,615	0	0
12	43,208	7,104,050	6,077	168,624	1,565	1,430	0	0
	44,178	7,191,060	2,088	165,015	1,571	1,965	0	0
1	30,897	5,433,930	6,363	172,288	1,371	850	0	0
	31,282	5,648,220	2,164	180,110	1,351	668	0	0
2	29,683	4,547,860	2,664	179,095	1,535	1,485	0	0
	28,406	4,356,640	6,045	163,375	1,694	1,869	0	0
3	37,492	8,522,270	3,221	176,324	2,035	2,920	0	0
	35,978	7,824,160	2,573	187,775	1,651	3,362	0	0
合計	410,847	81,677,690	36,157	1,935,192	21,336	33,406	19,246	2,477,370
	410,927	77,686,980	41,790	2,201,700	21,046	45,917	27,919	3,641,550
差異	△ 80	3,990,710	△ 5,633	△ 266,508	290	△ 12,511	△ 8,673	△ 1,164,180

対前年 99.9% 105.1% 86.5% 87.8% 101.3% 72.7% 68.9% 68.0%

平成26年度 利用状況表

上段 26年度
下段 25年度

NO.4

月	彦島体育館等施設合計		美 術 館		粗大ごみ等 受付センター	下関運動公園内7体育施設 及び下関市フットサル場	
	利用者数	金 額	利用者数	金 額	受 付 件 数	利用者数	金額
4	9,099	360,013	2,516	59,800	12,279	27,727	1,830,514
	7,232	357,785	1,645	41,600	10,609	26,398	1,670,940
5	10,287	393,773	4,606	93,100	11,063	24,923	1,601,079
	9,084	434,695	6,233	66,700	11,736	24,990	1,635,770
6	7,776	380,848	4,180	81,160	11,230	23,505	1,539,848
	6,835	394,670	3,290	294,150	11,091	23,082	1,472,435
7	7,048	376,808	3,445	259,620	12,183	27,225	1,522,682
	6,899	366,018	2,974	831,450	13,207	24,849	1,525,413
8	11,803	358,373	6,888	629,300	9,953	20,660	1,575,697
	6,905	369,605	6,509	401,050	10,145	22,175	1,634,390
9	7,931	435,111	4,368	81,300	12,301	31,586	1,766,380
	8,375	392,655	5,561	108,100	10,883	26,541	1,559,685
10	9,581	464,454	6,444	52,800	12,473	25,627	1,757,996
	7,544	445,003	6,225	66,860	12,528	24,274	1,464,255
11	8,912	404,117	4,113	367,540	11,675	20,206	1,570,955
	7,793	406,145	5,312	172,000	12,655	18,496	1,522,836
12	4,841	253,669	1,838	391,050	15,083	15,117	1,209,026
	6,658	267,025	1,848	285,700	15,399	16,454	1,247,670
1	5,990	304,525	4,962	92,200	8,665	20,898	1,388,309
	5,376	291,700	7,074	2,970,100	8,754	17,432	1,150,970
2	5,098	287,283	5,759	2,409,600	7,541	18,628	1,445,061
	5,388	264,990	7,886	2,052,400	7,576	17,920	1,277,150
3	7,618	396,196	7,772	2,911,600	9,858	23,349	2,277,242
	9,196	379,770	5,071	67,900	10,610	23,777	1,913,320
合計	95,984	4,415,170	56,891	7,429,070	134,304	279,451	19,484,789
	87,285	4,370,061	59,628	7,358,010	135,193	266,388	18,074,834
差異	8,699	45,109	△ 2,737	71,060	△ 889	13,063	1,409,955

対前年 109.9% 101.0% 95.4% 100.9% 99.3% 104.9% 107.8%

平成26年度 利用状況表

上段 26年度
下段 25年度

NO.5

月	下関市満珠荘			菊川温泉プール		サングリーン菊川		
	宿泊者数	浴場利用者数	金額	利用者数	金額	宿泊者数	浴場利用者数	金額
4	383	3,420	8,481,219	2,583	507,435	266	1,404	7,340,039
	344	3,301	8,403,194	2,314	472,220	376	1,348	9,303,399
5	431	3,404	9,364,055	3,069	509,325	346	1,320	11,067,916
	406	3,106	8,174,682	2,743	514,230	406	1,370	9,568,842
6	286	2,840	5,997,383	3,795	690,780	198	1,229	6,684,686
	301	2,645	6,032,280	3,614	748,670	256	1,202	7,274,781
7	374	2,676	6,545,954	5,388	990,830	319	1,299	6,467,701
	328	2,734	5,638,302	5,841	1,132,560	252	972	7,969,827
8	656	2,830	9,512,526	6,082	1,293,015	522	1,828	10,156,662
	592	2,859	8,198,994	6,374	1,323,810	505	1,179	10,076,494
9	270	2,661	6,226,438	3,693	706,180	321	1,516	5,870,480
	356	2,488	5,838,473	3,893	701,870	276	1,135	5,113,780
10	381	3,211	7,624,588	4,468	847,000	550	1,624	8,960,589
	442	2,668	7,460,855	3,493	561,300	408	1,207	7,654,808
11	463	3,412	9,094,885	3,603	730,140	591	1,835	10,744,049
	435	2,933	8,104,208	3,021	568,790	366	1,451	8,600,076
12	399	4,266	9,078,738	2,582	467,810	432	2,099	12,241,093
	431	3,590	8,367,235	2,124	365,700	388	1,722	11,606,111
1	358	4,824	8,457,129	2,638	507,115	513	2,656	12,205,470
	392	4,460	8,408,118	2,141	392,500	321	2,182	11,809,741
2	311	3,668	7,314,962	1,189	179,190	423	2,654	9,469,440
	285	3,419	5,894,257	1,760	302,650	208	1,645	6,487,955
3	474	4,664	10,159,957	1,866	409,210	510	2,805	10,671,350
	391	4,038	8,674,058	2,049	404,060	377	1,653	10,745,212
合計	4,786	41,876	97,857,834	40,956	7,838,030	4,991	22,269	111,879,475
	4,703	38,241	89,194,656	39,367	7,488,360	4,139	17,066	106,211,026
差異	83	3,635	8,663,178	1,589	349,670	852	5,203	5,668,449

対前年 101.7% 109.5% 109.7% 104.0% 104.6% 120.5% 130.4% 105.3%

財務諸表及び附属明細書 並びに財産目録

貸借対照表	P30
正味財産増減計算書	P31
貸借対照表内訳表	P33
正味財産増減計算書内訳表	P35
財務諸表に対する注記	P37
附属明細書	P39
財産目録	P40

(参考資料)

事業所別予算対比正味財産増減計算書	P42
-------------------	-----

貸借対照表

平成27年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	102,413,973	112,305,540	△ 9,891,567
現金	377,230	446,719	△ 69,489
普通預金	92,036,743	101,858,821	△ 9,822,078
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
つり銭準備金	2,464,000	2,356,000	108,000
売掛金	1,681,910	829,499	852,411
未収金	2,649,738	728,965	1,920,773
前払金	109,308	0	109,308
商品	85,230	87,352	△ 2,122
原材料	959,105	1,246,410	△ 287,305
貯蔵品	167,947	170,932	△ 2,985
流動資産合計	110,531,211	117,724,698	△ 7,193,487
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	11,000,000	11,000,000	0
基本財産合計	11,000,000	11,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	34,661,183	35,470,303	△ 809,120
特定資産合計	34,661,183	35,470,303	△ 809,120
(3) その他固定資産			
車両運搬具	2	2	0
什器備品	7	7	0
建物附帯設備	3,910,055	4,693,939	△ 783,884
機械装置	1,073,667	1,562,833	△ 489,166
工具器具備品	810,000	0	810,000
その他固定資産合計	5,793,731	6,256,781	△ 463,050
固定資産合計	51,454,914	52,727,084	△ 1,272,170
資産の部合計	161,986,125	170,451,782	△ 8,465,657
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	4,060,163	4,388,959	△ 328,796
未払金	38,746,162	60,720,844	△ 21,974,682
未払法人税等	71,000	71,000	0
未払消費税等	16,562,262	7,254,650	9,307,612
前受金	1,484,100	2,413,100	△ 929,000
預り金	1,445,468	1,683,806	△ 238,338
賞与引当金	12,466,700	15,152,246	△ 2,685,546
流動負債合計	74,835,855	91,684,605	△ 16,848,750
2 固定負債			
退職給付引当金	41,731,933	36,211,053	5,520,880
借入金	0	0	0
固定負債合計	41,731,933	36,211,053	5,520,880
負債の部合計	116,567,788	127,895,658	△ 11,327,870
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
2 一般正味財産	45,418,337	42,556,124	2,862,213
(うち基本財産への充当額)	(11,000,000)	(11,000,000)	(0)
正味財産の部合計	45,418,337	42,556,124	2,862,213
負債及び正味財産合計	161,986,125	170,451,782	△ 8,465,657

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	11,000	9,642	1,358
事業収益			
施設管理料	539,480,029	537,872,497	1,607,532
介護予防事業収益	360,000	360,000	0
受講料収益	10,921,575	8,626,740	2,294,835
商品販売収益	603,200	374,600	228,600
施設利用料	48,681,045	46,279,911	2,401,134
飲食料収益	124,463,524	119,488,102	4,975,422
入浴料収益	27,582,260	25,272,750	2,309,510
入湯税収益	1,287,450	1,013,000	274,450
売店収益	1,357,637	1,242,822	114,815
販売手数料	4,122,420	4,539,496	△ 417,076
自動販売機収益	6,312,897	6,707,857	△ 394,960
手数料収益	664,866	792,323	△ 127,457
実費弁償金収益	1,444,236	1,560,911	△ 116,675
遊技機使用料	447,762	488,122	△ 40,360
駐車料	5,633,732	5,871,027	△ 237,295
ユニカール事業収益	0	1,181,250	△ 1,181,250
雑収益			
受取利息	51,842	56,220	△ 4,378
雑収益	2,657,243	994,871	1,662,372
経常収益計	776,082,718	762,732,141	13,350,577
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	223,555,917	256,027,341	△ 32,471,424
臨時雇賃金	76,156,097	64,576,741	11,579,356
賞与引当金繰入額	10,684,365	13,088,324	△ 2,403,959
退職給付費用	6,461,798	6,370,920	90,878
法定福利費	40,112,920	42,556,647	△ 2,443,727
旅費交通費	2,696,408	2,295,485	400,923
通信運搬費	3,992,037	3,479,865	512,172
減価償却費	1,435,050	1,653,072	△ 218,022
広告宣伝費	4,622,140	2,481,081	2,141,059
手数料	4,729,791	3,395,517	1,334,274
消耗什器備品費	946,180	1,902,110	△ 955,930
消耗品費	15,823,959	15,403,940	420,019
修繕費	13,557,204	13,042,594	514,610
印刷製本費	3,781,355	4,833,884	△ 1,052,529
燃料費	13,532,323	13,150,629	381,694
光熱水料費	95,693,891	94,197,930	1,495,961
賃借料	14,456,370	13,785,476	670,894
保険料	1,832,406	1,506,420	325,986
諸謝金	5,204,232	4,238,580	965,652
租税公課	30,892,506	20,800,222	10,092,284
支払負担金	103,700	86,700	17,000
報酬	0	798,000	△ 798,000
委託費	95,573,883	93,389,349	2,184,534
交際費	49,729	37,126	12,603
行事費	112,307	221,383	△ 109,076
研修費	94,600	300,650	△ 206,050

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
商品仕入	2,171,864	1,805,827	366,037
原材料費	45,048,065	42,804,050	2,244,015
寄付金	742,045	855,250	△ 113,205
雑費	1,116	2,047	△ 931
管理費			
役員報酬	3,076,960	6,136,050	△ 3,059,090
給料手当	28,833,590	20,686,950	8,146,640
臨時雇賃金	35,025	10,000	25,025
賞与引当金繰入額	1,782,335	2,063,922	△ 281,587
退職給付費用	6,618,202	1,108,000	5,510,202
法定福利費	5,545,728	4,036,104	1,509,624
福利厚生費	608,445	620,273	△ 11,828
会議費	46,515	21,433	25,082
旅費交通費	719,496	414,094	305,402
通信運搬費	495,712	394,510	101,202
手数料	1,363,386	157,107	1,206,279
消耗什器備品費	0	167,475	△ 167,475
消耗品費	531,639	597,431	△ 65,792
修繕費	17,268	57,540	△ 40,272
印刷製本費	50,563	21,210	29,353
燃料費	155,949	140,785	15,164
光熱水料費	522,959	509,808	13,151
賃借料	1,623,024	883,102	739,922
保険料	202,750	263,880	△ 61,130
租税公課	3,576,606	1,742,129	1,834,477
支払負担金	130,600	217,100	△ 86,500
報酬	2,284,200	1,848,000	436,200
委託費	109,089	0	109,089
交際費	10,000	43,000	△ 33,000
研修費	732,374	342,120	390,254
経常費用計	773,136,673	761,569,183	11,567,490
評価損益等調整前当期経常増減額	2,946,045	1,162,958	1,783,087
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,946,045	1,162,958	1,783,087
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	100	0	100
当期経常外増減額	△ 100	0	△ 100
税引前当期一般正味財産増減額	2,945,945	1,162,958	1,782,987
法人税、住民税及び事業税	83,732	84,182	△ 450
当期一般正味財産増減額	2,862,213	1,078,776	1,783,437
一般正味財産期首残高	42,556,124	41,477,348	1,078,776
一般正味財産期末残高	45,418,337	42,556,124	2,862,213
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	45,418,337	42,556,124	2,862,213

貸借対照
平成27年3

勘定科目	実施事業等会計	その他		
		施設管理	満珠荘	サングリーン菊川
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	366,361	86,132,358	691,861	3,530,536
現金	2,140	40,800	0	319,429
普通預金	364,221	86,091,558	691,861	3,211,107
定期預金				
つり銭準備金			331,000	286,000
売掛金			905,270	776,640
未収金	10,472	1,867,473	56,137	43,085
前払金	59,308	50,000	0	0
商品			52,388	32,842
原材料			532,605	426,500
貯蔵品			0	5,718
流動資産合計	436,141	88,049,831	2,569,261	5,101,321
2 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金				
基本財産合計	0	0	0	0
(2) 特定資産				
退職給付引当資産		0		
特定資産合計	0	0	0	0
(3) その他固定資産				
車両運搬具			0	
什器備品			0	
建物附帯設備			3,910,055	
機械装置			1,073,667	
工具器具備品			810,000	
貸付金				
その他固定資産合計	0	0	5,793,722	0
固定資産合計	0	0	5,793,722	0
資産の部合計	436,141	88,049,831	8,362,983	5,101,321
II 負債の部				
1 流動負債				
買掛金	0		1,948,202	2,111,961
未払金	110,000	24,883,620	5,187,083	6,252,410
未払法人税等	0	0	0	0
未払消費税等	11,457	10,177,777	1,578,065	2,142,135
前受金	0	1,022,100	0	0
預り金	10,210	2,551	139,469	164,018
賞与引当金	104,865	8,691,650	728,750	936,700
流動負債合計	236,532	44,777,698	9,581,569	11,607,224
2 固定負債				
退職給付引当金		6,602,826	492,600	248,150
借入金			52,757,000	
固定負債合計	0	6,602,826	53,249,600	248,150
負債の部合計	236,532	51,380,524	62,831,169	11,855,374
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
2 一般正味財産	199,609	36,669,307	△ 54,468,186	△ 6,754,053
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)
正味財産の部合計	199,609	36,669,307	△ 54,468,186	△ 6,754,053
負債及び正味財産合計	436,141	88,049,831	8,362,983	5,101,321

表内訳表
月31日現在

(単位：円)

会計			法人会計	内部取引消去	法人合計
売店	駐車場	小計	法人会計		
14,277,103	3,786,738	108,418,596	△ 6,370,984		102,413,973
14,861	0	375,090			377,230
4,262,242	3,786,738	98,043,506	△ 6,370,984		92,036,743
10,000,000		10,000,000			10,000,000
254,000	20,000	891,000	1,573,000		2,464,000
0	0	1,681,910	0		1,681,910
468,854	11,428	2,446,977	192,289		2,649,738
0		50,000	0		109,308
0		85,230	0		85,230
0		959,105	0		959,105
162,229		167,947	0		167,947
15,162,186	3,818,166	114,700,765	△ 4,605,695	0	110,531,211
		0	11,000,000		11,000,000
0	0	0	11,000,000	0	11,000,000
		0	34,661,183		34,661,183
0	0	0	34,661,183	0	34,661,183
		0	2		2
5		5	2		7
		3,910,055	0		3,910,055
		1,073,667	0		1,073,667
		810,000	0		810,000
38,757,000		38,757,000	14,000,000	△ 52,757,000	0
38,757,005	0	44,550,727	14,000,004	△ 52,757,000	5,793,731
38,757,005	0	44,550,727	59,661,187	△ 52,757,000	51,454,914
53,919,191	3,818,166	159,251,492	55,055,492	△ 52,757,000	161,986,125
		4,060,163			4,060,163
721,289	24,791	37,069,193	1,566,969		38,746,162
0	0	0	71,000		71,000
232,637	166,741	14,297,355	2,253,450		16,562,262
0	462,000	1,484,100	0		1,484,100
42,051	5,628	353,717	1,081,541		1,445,468
180,000	42,400	10,579,500	1,782,335		12,466,700
1,175,977	701,560	67,844,028	6,755,295	0	74,835,855
		7,343,576	34,388,357		41,731,933
		52,757,000		△ 52,757,000	0
0	0	60,100,576	34,388,357	△ 52,757,000	41,731,933
1,175,977	701,560	127,944,604	41,143,652	△ 52,757,000	116,567,788
		31,306,888	13,911,840	0	45,418,337
(0)	(0)	(0)	(11,000,000)	(0)	(11,000,000)
52,743,214	3,116,606	31,306,888	13,911,840	0	45,418,337
53,919,191	3,818,166	159,251,492	55,055,492	△ 52,757,000	161,986,125

正味財産増減計算書内訳表

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

勘定科目	実施事業等会計	その他会計						法人会計	内部取引消去	法人合計
		施設管理	満珠荘	サングリーン菊川	売店	駐車場	小計	法人会計		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	11,000		11,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	11,000		11,000
事業収益	1,503,525	517,054,915	97,856,927	141,747,498	9,564,836	5,634,932	771,859,108	0		773,362,633
施設管理料	0	504,506,029	1,208,000	33,766,000	0	0	539,480,029	0		539,480,029
介護予防事業収益	0	360,000	0	0	0	0	360,000	0		360,000
受講料収益	1,503,525	9,312,450	0	105,600	0	0	9,418,050	0		10,921,575
商品販売収益	0	548,300	0	54,900	0	0	603,200	0		603,200
施設利用料	0	0	23,401,050	25,279,995	0	0	48,681,045	0		48,681,045
飲食料収益	0	2,322,472	53,602,946	68,538,106	0	0	124,463,524	0		124,463,524
入浴料収益	0	0	17,064,140	10,518,120	0	0	27,582,260	0		27,582,260
入湯税収益	0	0	0	1,287,450	0	0	1,287,450	0		1,287,450
売店収益	0	0	276,890	727,856	352,891	0	1,357,637	0		1,357,637
販売手数料	0	5,664	1,408,125	0	2,708,631	0	4,122,420	0		4,122,420
自動販売機収益	0	0	813,576	717,546	4,781,775	0	6,312,897	0		6,312,897
手数料収益	0	0	0	663,666	0	1,200	664,866	0		664,866
実費介償金収益	0	0	0	88,259	1,355,977	0	1,444,236	0		1,444,236
遊技機使用料	0	0	82,200	0	365,562	0	447,762	0		447,762
駐車料	0	0	0	0	0	5,633,732	5,633,732	0		5,633,732
管理費収益	0	0	0	0	0	0	0	56,523,000	△ 56,523,000	0
本社管理費収益	0	0	0	0	0	0	0	56,523,000	△ 56,523,000	0
雑収益	50	5,378	907	558,477	400,633	602	965,997	1,743,038		2,709,085
受取利息	50	752	722	1,435	10,956	602	14,467	37,325		51,842
雑収益	0	4,626	185	557,042	389,677	0	951,530	1,705,713		2,657,243
経常収益計	1,503,575	517,060,293	97,857,834	142,305,975	9,965,469	5,635,534	772,825,105	58,277,038	△ 56,523,000	776,082,718
(2) 経常費用										
事業費	4,874,315	435,690,161	114,059,522	145,338,508	10,634,477	3,467,275	709,189,943	0	△ 56,523,000	657,541,258
給料手当	2,976,259	160,939,139	27,122,118	25,083,659	5,767,966	1,666,776	220,579,658	0		223,555,917
臨時雇賃金	0	33,083,899	17,514,300	25,557,898	0	0	76,156,097	0		76,156,097
賞与引当金繰入額	104,865	8,691,650	728,750	936,700	180,000	42,400	10,579,500	0		10,684,365
退職給付費用	295,293	5,138,822	589,683	438,000	0	0	6,166,505	0		6,461,798
法定福利費	94,636	27,492,193	5,381,775	5,816,157	1,047,903	280,256	40,018,284	0		40,112,920
旅費交通費	0	1,417,805	609,960	598,370	70,273	0	2,696,408	0		2,696,408
通信運搬費	0	2,069,627	574,842	1,110,616	174,760	62,192	3,992,037	0		3,992,037
減価償却費	0	0	1,435,050	0	0	0	1,435,050	0		1,435,050
広告宣伝費	0	1,113,117	1,525,892	1,983,131	0	0	4,622,140	0		4,622,140
手数料	0	621,998	1,575,744	2,531,734	315	0	4,729,791	0		4,729,791
消耗什器備品費	0	69,660	741,520	135,000	0	0	946,180	0		946,180
消耗品費	175,530	8,202,694	1,808,738	5,557,883	79,114	0	15,648,429	0		15,823,959
修繕費	0	12,080,996	111,240	1,343,368	21,600	0	13,557,204	0		13,557,204
印刷製本費	0	2,924,375	736,668	85,320	34,992	0	3,781,355	0		3,781,355
燃料費	0	76,885	62,183	13,393,255	0	0	13,532,323	0		13,532,323
光熱水料費	0	59,786,271	17,049,079	17,046,568	1,504,600	307,373	95,693,891	0		95,693,891
貸借料	116,329	5,133,855	4,439,060	3,233,941	885,348	647,837	14,340,041	0		14,456,370
保険料	42,946	1,136,450	175,320	427,970	33,640	16,080	1,789,460	0		1,832,406
諸謝金	1,057,000	4,115,232	0	32,000	0	0	4,147,232	0		5,204,232
租税公課	11,457	21,184,869	3,043,639	5,868,052	458,928	325,561	30,881,049	0		30,892,506
支払負担金	0	32,500	1,000	62,200	8,000	0	103,700	0		103,700
委託費	0	78,402,822	9,599,927	7,452,334	0	118,800	95,573,883	0		95,573,883
交際費	0	0	0	24,000	25,729	0	49,729	0		49,729

行事費	0	47,000	0	0	65,307	0	112,307	0	112,307	
研修費	0	94,600	0	0	0	0	94,600	0	94,600	
商品仕入	0	949,244	416,831	530,039	275,750	0	2,171,864	0	2,171,864	
原材料費	0	152,413	18,816,203	26,079,449	0	0	45,048,065	0	45,048,065	
寄付金	0	732,045	0	10,000	0	0	742,045	0	742,045	
雑費	0	0	0	864	252	0	1,116	0	1,116	
本社費	0	55,430,000	10,000	1,063,000	10,000	10,000	56,523,000	△ 56,523,000	0	
管理費	0	0	0	0	0	0	59,072,415	0	59,072,415	
役員報酬	0	0	0	0	0	0	3,076,960	0	3,076,960	
給料手当	0	0	0	0	0	0	28,833,590	0	28,833,590	
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	35,025	0	35,025	
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	1,782,335	0	1,782,335	
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	6,618,202	0	6,618,202	
法定福利費	0	0	0	0	0	0	5,545,728	0	5,545,728	
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	608,445	0	608,445	
会議費	0	0	0	0	0	0	46,515	0	46,515	
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	719,496	0	719,496	
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	495,712	0	495,712	
手数料	0	0	0	0	0	0	1,363,386	0	1,363,386	
消耗品費	0	0	0	0	0	0	531,639	0	531,639	
修繕費	0	0	0	0	0	0	17,268	0	17,268	
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	50,563	0	50,563	
燃料費	0	0	0	0	0	0	155,949	0	155,949	
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	522,959	0	522,959	
賃借料	0	0	0	0	0	0	1,623,024	0	1,623,024	
保険料	0	0	0	0	0	0	202,750	0	202,750	
租税公課	0	0	0	0	0	0	3,576,606	0	3,576,606	
支払負担金	0	0	0	0	0	0	130,600	0	130,600	
報酬	0	0	0	0	0	0	2,284,200	0	2,284,200	
委託費	0	0	0	0	0	0	109,089	0	109,089	
交際費	0	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000	
研修費	0	0	0	0	0	0	732,374	0	732,374	
経常費用計	4,874,315	491,120,161	114,069,522	146,401,508	10,644,477	3,477,275	765,712,943	59,072,415	△ 56,523,000	773,136,673
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,370,740	25,940,132	△ 16,211,688	△ 4,095,533	△ 679,008	2,158,259	7,112,162	△ 795,377	0	2,946,045
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,370,740	25,940,132	△ 16,211,688	△ 4,095,533	△ 679,008	2,158,259	7,112,162	△ 795,377	0	2,946,045
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	100	0	0	0	100	0	0	100
当期経常外増減額	0	0	△ 100	0	0	0	△ 100	0	0	△ 100
他会計振替額	3,570,355	△ 2,440,192	△ 130,163	△ 2,910,953	0	△ 1,000,000	△ 6,481,308	2,910,953	0	0
他会計からの繰入額	3,570,355	25,926	1,000,000	0	0	0	1,025,926	2,910,953	△ 7,507,234	0
他会計への繰出額	0	2,466,118	1,130,163	2,910,953	0	1,000,000	7,507,234	0	△ 7,507,234	0
税引前当期一般正味財産増減額	199,615	23,499,940	△ 16,341,951	△ 7,006,486	△ 679,008	1,158,259	630,754	2,115,576	0	2,945,945
法人税、住民税及び事業税	6	143	145	289	2,220	121	2,918	80,808	0	83,732
当期一般正味財産増減額	199,609	23,499,797	△ 16,342,096	△ 7,006,775	△ 681,228	1,158,138	627,836	2,034,768	0	2,862,213
その他利益剰余金		11,303,238	0	2,910,953	0	0	14,214,191	△ 14,214,191	0	0
前期繰越利益剰余金		11,303,238	0	2,910,953	0	0	14,214,191	△ 14,214,191	0	0
一般正味財産期首残高	0	1,866,272	△ 38,126,090	△ 2,658,231	53,424,442	1,958,468	16,464,861	26,091,263	0	42,556,124
一般正味財産期末残高	199,609	36,669,307	△ 54,468,186	△ 6,754,053	52,743,214	3,116,606	31,306,888	13,911,840	0	45,418,337
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	199,609	36,669,307	△ 54,468,186	△ 6,754,053	52,743,214	3,116,606	31,306,888	13,911,840	0	45,418,337

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を適用している。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法は、最終仕入原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定率法による。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金 翌期支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、退職手当規程に基づく算定額（自己都合要支給額）から、中小企業退職金共済制度により支給される額を差し引いた要支給見込額の一部を計上している。（残額は、今後の収益により補填予定）

(4) 消費税等の会計処理

税込方式による。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	11,000,000	0	0	11,000,000
小 計	11,000,000	0	0	11,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	35,470,303		809,120	34,661,183
小 計	35,470,303	0	809,120	34,661,183
合 計	46,470,303	0	809,120	45,661,183

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	11,000,000	(0)	(11,000,000)	(0)
小 計	11,000,000	(0)	(11,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	34,661,183	(0)	()	(34,661,183)
小 計	34,661,183	(0)	(0)	(34,661,183)
合 計	45,661,183	(0)	(11,000,000)	(34,661,183)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具 (トヨタカルディナ)	1,208,000	1,207,999	1
車両運搬具 (ミニキャブトラック)	790,000	789,999	1
小 計	1,998,000	1,997,998	2
什器備品 (本社応接セット)	240,000	239,999	1
什器備品 (本社MSシュレッター231MA)	145,000	144,999	1
什器備品 (火の山展望台望遠鏡3台)	849,000	848,997	3
什器備品 (長府庭園売店ショーケースカウンター)	237,000	236,999	1
什器備品 (ヘルシーランド売店冷蔵オープンケース)	660,000	659,999	1
小 計	2,131,000	2,130,993	7
建物付帯設備 (内装工事)	976,500	427,782	548,718
建物付帯設備 (電気工事)	819,000	358,784	460,216
建物付帯設備 (給排水・ガス工事)	1,382,850	605,795	777,055
建物付帯設備 (空調設備)	3,780,000	1,655,934	2,124,066
小 計	6,958,350	3,048,295	3,910,055
機械装置 (飲食店業務用設備)	3,493,550	2,419,883	1,073,667
小 計	3,493,550	2,419,883	1,073,667
工具器具備品 (売店陳列棚)	972,000	162,000	810,000
小 計	972,000	162,000	810,000
合 計	15,552,900	9,759,169	5,793,731

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(1) 賞与引当金

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	15,152,246	12,466,700	15,152,246		12,466,700

(2) 退職給付引当金

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	36,211,053	6,330,000	809,120		41,731,933

財 産 目 録

平成27年 3月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金 現金	手元保管 (売店) 14,861円	運転資金として (3/31売上分)	102,413,973
		手元保管 (サングリーン) 319,429円	運転資金として (3/31売上分)	377,230
	手元保管 (実施事業) 2,140円	運転資金として (3/31売上分)		
	手元保管 (自主事業) 40,800円	運転資金として (3/31受講料受領分)		
	普通預金	山口銀行 本店 口座No. 6470288 74,912,582円	運転資金として (施設管理・法人会計)	92,036,743
		山口銀行 本店 口座No. 554508 159,784円	運転資金として (法人会計・福利厚生)	
		山口銀行 本店 口座No. 0410864 3,017,281円	運転資金として (売店:本社)	
		山口銀行 長府支店 口座No. 282394 1,129,573円	運転資金として (売店:長府庭園)	
		山口銀行 新下関駅前支店 口座No. 5015587 115,388円	運転資金として (売店:ヘルシーランド)	
		山口銀行 本店 口座No. 5024095 3,786,738円	運転資金として (駐車場)	
		山口銀行 田部支店 口座No. 5006785 3,211,107円	運転資金として (サングリーン菊川・温泉プール)	
		山口銀行 本店 口座No. 5018803 691,861円	運転資金として (満珠荘)	
		山口銀行 本店 口座No. 5138343 281,121円	運転資金として (実施事業)	
		山口銀行 本店 口座No. 5129165 3,250,198円	運転資金として (自主事業)	
		山口銀行 長府支店 口座No. 5019597 195,200円	運転資金として (自主事業:毛利邸)	
		山口銀行 彦島支店 口座No. 5020294 130,550円	運転資金として (自主事業:彦島体育館)	
		山口銀行 長府東支店 口座No. 5018043 7,000円	運転資金として (実施事業:長府体育館)	
		山口銀行 彦島支店 口座No. 5020304 25,200円	運転資金として (自主事業:青少年ホーム)	
		山口銀行 新下関駅前支店 口座No. 5046486 990,960円	運転資金として (自主事業:ヘルシーランド)	
		山口銀行 長府支店 口座No. 5019580 35,100円	運転資金として (自主事業:長府庭園)	
		山口銀行 長府東支店 口座No. 5021926 20,000円	運転資金として (自主事業:アクティブセンター)	
		山口銀行 東駅出張所 口座No. 5016346 77,100円	運転資金として (実施事業:下関運動公園)	
		定期預金	西中国信用金庫 下関市役所出張所 大口定期預金 No. 34052 10,000,000円	
	つり銭準備金			2,464,000
	売掛金		クレジットカード利用者売上等	1,681,910
	未収金		美術館受託料、自動販売機販売手数料 (3月分) 等	2,649,738
	前払金		有証・貨紙幣類年進運送保険等	109,308
商品		自販機販売用飲料、商品	85,230	
原材料		食材・飲料等	959,105	
貯蔵品		商品 (菓子類)、名入れタオル、コースター等	167,947	
流動資産合計			110,531,211	
(固定資産)	基本財産	定期預金	西中国信用金庫 下関市役所出張所 定期預金 No. 0033365 11,000,000円	11,000,000
		特定資産	退職給付引当資産	西中国信用金庫 下関市役所出張所 定期預金 No. 0035147 27,682,563円 山口銀行 本店 定期預金 No.410864-013 6,492,673円 山口銀行 本店 定期預金 No.410864-014 485,947円 山口銀行 本店 普通預金 No. 6470288 0円
その他固定資産	車両運搬具 什器備品 建物附帯設備 機械装置 工具器具備品	車両運搬具2台 (カルディナ・ミニキャブトラック)		2
		望遠鏡3台・ショーケース等		7
		厨房等の給排水設備等		3,910,055
		厨房の機械装置		1,073,667
		売店陳列棚		810,000
固定資産合計			51,454,914	
資産合計			161,986,125	
(流動負債)	買掛金 未払金 未払法人税等 未払消費税等 前受金 預り金 賞与引当金	食材・飲料等		4,060,163
		委託等の業者支払・退職金の支払等		38,746,162
		平成26年度法人税納付のため		71,000
		平成26年度第4期消費税納付のため		16,562,262
		平成27年度分自主事業講座受講料、駐車場収入		1,484,100
		雇用保険料、3月分市・県民税及び所得税		1,445,468
		当会計年度に帰属する額		12,466,700
流動負債合計			74,835,855	
(固定負債)	退職給付引当金 借入金	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	41,731,933	
固定負債合計			41,731,933	
負債合計			116,567,788	
正味財産			45,418,337	

監査報告

平成27年 5月18日

一般財団法人下関市公営施設管理公社
理事長 波多野 実 様

監事

岡田 健

監事

井上 浩

私たち監事は、当法人の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度の理事の職務の執行について、監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第99条第1項の規定に基づき、業務及び会計の監査を行い、下記のとおり報告する。

記

1 監査の方法及びその内容

- (1) 業務監査については、閲覧、質問など必要と思われる監査手続を用いて事業報告及びその附属明細書並びに理事の職務の執行を監査した。
- (2) 会計監査については、閲覧、証憑突合など必要と思われる監査手続を用いて貸借対照表及び正味財産増減計算書(財務諸表に対する注記を含む。以下「計算書類」という。)並びにその附属明細書を監査した。
- (3) 計算書類及び附属明細書に基づいて作成されている公益目的支出計画実施報告書を監査した。

2 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (3) 計算書類及びその附属明細書は、会計帳簿又はこれに関する資料の記載金額と一致し、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示していると認める。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、事業報告、計算書類及びこれらの附属明細書の記載内容と一致し、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認める。

以上